

抗議要請文

内閣総理大臣 安倍晋三殿
防衛大臣 小野寺五典殿

現在政府は、岩国市の愛宕山地域において米軍住宅建設を強行しています。岩国市民、地元住民の反対を踏みにじり着工が強行されたことに強く抗議します。

愛宕山開発事業は本来、岩国市民にとって街づくりの中心になるはずでした。岩国基地の滑走路の沖合い移設は、市民を苦しめる騒音と事故の危険性を低減させ、新しい街を市民に提供する計画でした。であるからこそ愛宕山地域の地権者も土地の売却に同意したのであり、米軍住宅が建てられると知っていれば土地を提供することはしなかったはずです。

山口県、岩国市による愛宕山開発事業の中止と防衛省による開発跡地の買収は、まさに岩国市民を騙し土地を提供した地権者の思いを踏みにじる許しがたい行為です。

さらに岩国基地を2017年を目標に大幅に強化しようとしています。日米両政府は、厚木基地からの空母艦載機59機の移駐、F35配備、愛宕山米軍住宅建設、これらを2017年に完了するとしています。それだけではありません。今年に入ってすでに、普天間基地からKC130空中給油機部隊（15機）の移駐が行われました。またオスプレイの低空飛行訓練拠点としても岩国は機能させられています。

このまま強化が進めば、2017年に岩国基地は極東最大の海兵隊基地に変貌させられます。滑走路沖合い移設と愛宕山開発事業に込められた岩国市民の願いは、まさに180度捻じ曲げられ正反対の結果を押し付けることになります。このようなことを絶対に認めることはできません。

本日8月21日は、岩国国際デーです。私たちアジア共同行動日本連絡会議が、岩国市民と連帯し岩国の闘いを日本全国へ世界へと発信し闘いの輪を広げていくために設定しました。8月21日という日は、愛宕山地域の住民が2010年8月21日からはじめた座り込みの日です。

私たちは安倍政権のもとで進行する「戦争する国」への道を断固として拒否し、自衛隊の強化・辺野古新基地建設・日米軍事一体化と連動して進む岩国基地強化、米軍住宅建設を許さないために、岩国市民とともに闘います。

以上を踏まえて以下のことを要請します。

- 1、岩国基地への空母艦載機の移駐を行わないこと
- 2、愛宕山米軍住宅建設を中止すること
- 3、オスプレイの運用を中止し、普天間基地から撤去すること
- 4、KC130空中給油機部隊の配備を撤回すること

2014年8月21日 アジア共同行動日本連絡会議